

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

R4  
8

- 1. 平均演色評価数 (Ra) は、評価対象となる光源による物体色の見え方と、同じ相関色温度の基準の光の下における物体色の見え方とのずれをもとにした数値である。
- 2. 短波長成分を多く含む色温度の高い光を午前中に浴びることで、サーカディアンリズムを保つ効果が期待できる。
- 3. 色票を用いて視感測色を行う際は、一般に、測色する部分の面積を色票の面積と同程度とする。
- 4. 記憶色 (記憶上の色彩) は、一般に、実際の色彩に比べて、彩度が低くなる傾向がある。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

R3  
8

- 1. マンセル表色系において、マンセルバリューが5の色の視感反射率は、一般に、約20%である。
- 2. 減法混色とは、複数の色光を混ぜ合わせて別の色の知覚を生じさせることをいい、もとの色の数が増加するほど明るくなる。
- 3. LED等の人工光源から発せられる光は、相関色温度が等しくても、異なる光色に知覚される場合がある。
- 4. XYZ表色系における三刺激値X、Y、Zのうち、Yは、反射物体の色の場合には、視感反射率を示す。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

R2  
8

- 1. ジャッド (D. B. Judd) がまとめた色彩調和の秩序性の原理によると、色相環における等間隔配色は調和する。
- 2. 明所視において、ある面からの放射エネルギーが同じ場合、緑色に比べて赤色のほうが光の強さを強く感じられる。
- 3. 色光の加法混色においては、混ぜ合わせる光を増やすほど、白色に近くなる。
- 4. マンセル表色系におけるバリュー (明度) は、0から10までの数値で表される。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

H25  
10

- 1. JISの安全色の一般事項における「緑」の表示事項は、「指示」及び「用心」である。
- 2. マンセル表色系において、マンセルバリューが5の色の視感反射率は、約20%である。
- 3. 物体の表面色の見え方は、見る方向によつて異なることがある。
- 4. 視認性は、注視している対象がはっきり見えるか否かに関する属性であり、視対象と背景色との間の明度差の影響を大きく受ける。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

H26  
10

- 1. 明所視において同じ比視感度である青と赤であっても、暗所視においては、赤より青のほうが明るく見える。
- 2. 記憶色(記憶上の色彩)は、一般に、実際の色彩に比べて、彩度・明度ともに低くなる傾向がある。
- 3. 囲まれた色、挟まれた色等が、その周囲の色に近づいて見える現象を同化という。
- 4. 建築空間において、小面積の高彩度色を大面積の低彩度色に対比させて用いると、一般に、アクセント効果が得られる。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

H27  
8

- 1. 人の目が光として感じることができるのは、波長が約380~780nmの放射である。
- 2. 加法混色の三原色は、赤・緑・青であり、それらを同じ割合で混ぜると白色になる。
- 3. 色光の誘目性は、一般に、色相では赤が最も高く、青がこれに続き、緑が最も低い。
- 4. ある面からの放射エネルギーが同じ場合、明所視では、緑色より赤色のほうが強く感じられる。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

H28  
8

- 1. マンセル表色系において、「5G7/8と表される色」より「5G8/6と表される色」のほうが明度は高い。
- 2. 色の面積効果は、面積が小さいほど明度・彩度が強く感じられる効果である。
- 3. 演色性は、視対象の色の見え方に及ぼす光源の性質であり、光源の分光分布に依存する。
- 4. 面色や開口色は、空間的な定位や肌理を感じられない色の見え方である。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

H29  
8

- 1. 減法混色は、色を吸収する媒体を混ぜ合わせて別の色を作ることをいい、混ぜ合わせを増やすごとに黒に近づく。
- 2. XYZ表色系における三原刺激X、Y、ZのうちYは、光源色の場合、測光的な明るさを表している。
- 3. マンセル表色系における彩度は、0から10までの数値で表される。
- 4. 日本工業規格(JIS)の「安全色 一般事項」において、「緑」は、「安全状態」及び「進行」を表している。

色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

H30  
8

- 1. 照明の光がわずかに変化した場合であっても、その光が一樣に物体に当たっていれば、色の恒常性により物体の色を同じ色として認識できる。
- 2. 明度は、視感反射率に対応する値であり、マンセル表色系ではヒューとして表される。
- 3. 全波長を均等に反射する分光分布をもつ物体を屋間の太陽光のもとで見るとき、その物体の反射率が高いほど、太陽光の色に近い白色に見える。
- 4. 色光の誘目性は、一般に、色相においては赤が最も高く、青がこれに次ぐ。

# 色彩

